

特別講演 1

「心不全パンデミック時代に予防を再考する

～各 Stage にフォーカスした薬剤選択の tips～」

愛知医科大学 内科学講座（循環器内科）講師

後藤 礼司 先生

現在私たちは2つのパンデミック時代を経験中です。1つはCOVID19パンデミック時代、もう1つは心不全パンデミック時代です。どちらも重要なのは予防することです。今や心不全は4段階のStage分類となりました。心不全「前」状態であるStageAとB、症候性のStageであるCとDに分けられます。心不全の二次予防、つまり再入院予防StageであるCに関してはFantastic 4の一翼を担うARNIの導入が非常に重要です。これは今までのキードラッグであるACE阻害薬を超える予防効果*が実証されています。そして心不全はEarlyStageであるAからの予防＝高血圧症の予防がより重要になります。しかしながら本邦の高血圧治療は不十分です。現在ARNIは高血圧診療にも使用できます。私の高血圧診療にARNIを活用したデータを用いながらこのパンデミック時代を紐解き、そして今後の未来についてお話しできたらと思います。

*McMurray JJ, et al.: N Eng J Med. 371(11), 993-1004, 2014